

平成 24 年度第 1 回みんなで支える森林づくり上小地域会議議事録

平成 24 年 10 月 19 日 13 時 00 分～
上小森林センター1 階会議室

- 出席委員(敬称略) 加々美貴代、小岩井彰、斉藤昌一、矢ヶ崎雅哉、丸山輝人、
田畑宗郎、松沢康博
- 欠席委員(敬称略) 上原栄子

1 開会宣言

2 上小地方事務所林務課長あいさつ

3 司 会

- ・配布資料の確認をする。
- ・当会議は公開である旨を伝える。

4 座長・座長代理の決定

- ・座長については、全会一致で丸山輝人委員に決定（今年度末まで）
- ・座長代理については、座長からの指名により松沢康博委員に決定（今年度末まで）

5 会議事項

座長(丸山委員)

まず、会議事項の 1 と 2、平成 20～23 年度森林税活用事業の実績及び平成 24 年度事業の実施状況について事務局から一括して説明をいただき、その後にご意見等をお願いしたい。

事務局

資料 1（1－1 から 1－3）により「平成 20～23 年度の森林税活用事業実績」を説明

事務局

資料 2（2－1 から 2－4）により「平成 24 年度の森林税活用事業実施状況」を説明

座 長

それでは先程の説明に対してご意見をお願いしたい。特に今回は、5 ヶ年の最終年にあたるといことで今までの成果を総括する場でもあります。質問や内容確認、事業実施の感想でも結構です。

斉藤委員

木青連として県産材を使った椅子づくりやミニチュアハウスづくりなどで木育活動に関わってきた。毎年好評である。毎年やってよかったと感じる。子供達に木に触れる機会をつくれて良かった。これからも続けられたらよいと思う。

松沢委員

「みんなで支える里山整備事業」が国庫補助に森林税を加えて 90%補助で実行できたのがよかった。

1つ見本ができると他にも広がっている。このたびの次期森林税での継続はありがたい。

小岩井委員

木育について、各学校や社会教育団体（公民館）への事業周知はしているのか。

事務局

森林林業教育については、各学校へ要望をとっている。そして、講師になりうる方を派遣している。

小岩井委員

山を借りて子供達と遊んだりする小さな民間団体や社会教育団体が、木育事業を実施したり、木育指導員を派遣してもらうようなことはできるのか。

事務局

木育事業ができる事業主体としては NPO 法人も OK である。そのほかに「地域会議で推薦された者」というものもある。次回3月の当協議会のおりに小規模任意団体から事業実施の要望が出てくれば、お諮りして決めることができる。

座 長

子供から大人までの生涯学習教育の事業については、教育事務所の方から市町村に伝えていただければありがたい。

小岩井委員

社会教育関係者へは伝える手段があるので使ってもらいたい。

任意団体が山を借りている。みんなで支える里山整備事業で間伐などできるか。

事務局

資料2-1に記載する者しか事業主体になれない。

加々美委員

NPO 法人が頭となって、一緒に連携してやればできるのではないか。

座 長

他に無いようなので次に会議事項3、「次期森林づくり県民税（案）の内容」について説明をお願いしたい。

事務局

資料 3 により説明

- ・ 過日の 9 月県議会において「長野県森林づくり県民税条例の一部改正案」が可決された。
- ・ 平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 年間の延長
- ・ 税額は個人・法人とも現行と同じ。
- ・ 税事業の内容については、継続・拡充・見直しがそれぞれある。
(森林税活用事業等の内容説明は資料 3 のとおり)

座 長

ただいま説明の内容については、9 月県議会において審議可決されたもので、基本的にはこの内容で実施される予定ですが、運用の細部については制度設計がこれからとなります。まずはこの内容を十分ご理解いただくとともに、森林税をどのように使っていけばよいかご意見などいただきたい。

矢ヶ崎委員

近年、所得税は少なくなっても地方税は上がっている。この中での森林税の徴収。森林税の使い先をしっかりと示していく必要がある。

また、使う際には上小地域の特色を出して使ってほしい。そのほうが有効に使ったということに繋がると思う。

建設業者は近年経営が厳しい。地域材を使った住宅の良さを PR するなどして住宅建築のブランド化を図る必要がある。建設業の方々も期待している。

松沢委員

地方事務所ごとに取り組みに特色を出すというのはまったく同感である。それぞれの地域特有の課題がある。特有な悩みに使えるようなしくみにしてほしい。上小地区では松くい虫被害材処理、樹種転換、間伐材の枝条処理などに使えばありがたい。また、木育事業においても、資材費への支援など型にはまらない使い方ができるようお願いしたい。

座 長

長和町では有害鳥獣駆除に力を入れている（特にニホンジカ）。年間で約 2 千万円投じている。やはり根本から、数を減らさなければ山は守れない。森林税をニホンジカ駆除に使えるようにしてほしい。

加々美委員

地域の方々が継続的に森林林業に係る活動を続けていくには、「どうすれば補助金をもらえるのか」などという、活動者がうまくやるような知恵を与える機会があればよいと思う。

また、「どうして間伐をしなければならないのか」というような基礎的知識をもっと広めていくべきである。

小岩井委員

子供達に作業をさせたり、木に触れさせるような具体的活動もよいが、それができる背景、おおもと、いわゆる「森林税のおかげで活動ができる」ということを子供や若い人につたえていくべきだ。「おもしろかった」で済んではいけない。このことを県教育委員会にも伝えて学校の学びの中に取り入れてほしい。連携をお願いしたい。

田畑委員

間伐材搬出のための林道、災害復旧は規定の雨量に達しないと採択にならない。採択にならない箇所は復旧（補修）に森林税を使ってほしい。

また、搬出間伐をしても枝条が残っていてもったいない。これらを利活用する制度が必要である。

座 長

時間もきたので、次に4のその他に入ります。何かあるか。

（事務局・・・特になし）

（各委員・・・特になし）

座 長

特になければ、これで全ての議事を終了したい。

6 司 会 室内会議終了宣言（14：32）

7 現地調査

○場所：青木村弘法地区

・上小森林センター発：14：45

・現地調査：15：20～16：00

○事務局より説明（資料4）

・みんなで支える里山整備事業による間伐（込山団地）

切捨て間伐後の状況を見学し、隣接の搬出間伐地とあわせて課題等の説明をした。

8 解散(会議終了宣言) 16：00